

「夕張プロジェクト」(仮称)の活動状況について

夕張市の財政再生計画(2009～29年度)は、計画上は2030年3月末の終了とされつつも、赤字償還の完了する2027年3月末をもって実質的に終了となる見通しです。この十数年、同計画に基づく赤字償還と財政支出の節減を進めた結果、同市は旧産炭地自治体としてのハンデはそのままに、いわば「人口減少先進地」としての様相をさら強める現状に立ち至っています。また、市関係者によれば、財政再建・再生に関する記憶は地元でも風化しつつある現状にあるとされています。

このような現状と展望を踏まえ、当研究所では2024年度より「夕張プロジェクト」(仮称)(主査＝山崎幹根・北海道大学公共政策大学院教授／当研究所理事長)の活動に着手し、財政再生計画の終了を機としながら、同計画のもとで市行政がどのような経験をしてきたか、また、同計画に基づく財政支出の縮減を十数年にわたって続けてきた結果、地域や住民生活はどのように変わったのか、資料・データの収集・整理や、歴史的な推移の記録・伝承を通して、同市の経験と現状を発信し、人口減少下の自治体政策のあり方の提言などをめざすこととしました。

2024年度の活動は以下のとおりです。

【2024年度】

(1) 関係者ヒアリング①

- 対象 厚谷 司 氏(夕張市長)
- 日時 2024年8月26日(月)14:00～17:00
- 会場 道立道民活動センター(かでの2・7)7階 会議室740
- 参加者 山崎幹根(北海道大学公共政策大学院教授／当研究所理事長)
難波 優(当研究所常務理事)
正木浩司(当研究所研究員)
- ヒアリング項目
 - ・ 生い立ち、夕張市役所への入職までのこと
 - ・ 幼少期から見てきた地域社会や炭鉱・石炭産業の状況
 - ・ 市役所入職から市の財政再建団体入り表明の時期(2006年)までのこと
 - ・ 労働組合(炭労、自治労)について

(2) 故・宮崎伸光氏(法政大学教授)の収集資料の入手と内容の確認

- 経緯 2024年10月30日入手(厚谷市長を通じて、宮崎氏のご遺族から提供)
事務局で11月25日までにデータのリスト化作業完了、関係者で共有

- 内 容 財政再建計画・財政再生計画の策定・運用に関する行財政資料
財政再建・再生計画下の地域の活動に関する資料 ほか

(3) 関係者ヒアリング②

- 対 象 厚谷 司 氏 (夕張市長)
- 日 時 2025年1月24日 (月) 11:00~15:00
- 会 場 北海道自治労会館 5階 第3会議室
- 参加者 山崎幹根 (北海道大学公共政策大学院教授/当研究所理事長)
難波 優 (当研究所常務理事)
正木浩司 (当研究所研究員)
- ヒアリング項目
 - ・ 財政再建団体入り表明時の状況・心情
 - ・ 財政再建団体・財政再生計画の策定をめぐって
 - ・ 市議時代の活動
 - ・ 財政再生計画期間の歴代市長のこと
 - ・ 市長選立候補の動機・背景
 - ・ 財政再生計画下の姿勢運営上の課題と今後の展望

(4) 関係者ヒアリング③

- 対 象 今井太志 氏 (北海道大学公共政策大学院教授/元総務省職員)
- 日 時 2025年2月28日 (月) 15:00~18:00
- 会 場 北海道自治労会館 4階 第5会議室
- 参加者 山崎幹根 (北海道大学公共政策大学院教授/当研究所理事長)
難波 優 (当研究所常務理事)
正木浩司 (当研究所研究員)
- ヒアリング項目
 - ・ 2006年6月10日の道新報道前後の状況
 - ・ 道庁「夕張市の財政運営に関する調査」のとりまとめの経緯
 - ・ 財政再建計画のとりまとめの経緯
 - ・ 財政再生計画の変更への道庁の対応状況
 - ・ 夕張市の財政破綻を振り返って

※ 講師等の所属・役職名は研究会開催当時のものです。

以上